

JAきたみらい

# あひま ササナ

2013



vol.123

4



## はいっポーズ!

《相内地区・東相内》

秋場陽子さんと知寛くん・健徳くん・和為くん

(紹介は2ページです)

特集

• TPP  
オホーツク地域挙げ  
交渉参加に反対



## 越冬長ネギ 出荷始まる

季節の薫り



ゆっくりとではあるが、厳しい冬の寒さが和らぎ、春の暖かさが感じられるようになってきた3月下旬。

長く、厳しい寒さを乗り越え、大きく、太く成長した越冬長ネギの収穫作業が最盛期を迎えている。この越冬長ネギは雪の下に覆われた中で、糖分を蓄え抜群の食味とやわらかい肉質をもち合わせた絶品のネギだ。

定植後の長雨と例年にない豪雨の影響で、やや柔らかくなっているため、例年以上に選果・出荷時に気をつかわないといけないデリケートな代物。しかし、その甘みと食感は今年も消費者の期待に応えうる素晴らしい出来となっている。



写真：3月29日、北見地区・集荷場に、越冬ネギを搬入する生産者の皆さんを撮影。当JA管内では、10戸の生産者が72<sup>ト</sup>を作付けし、約12<sup>ト</sup>の収量を見込んでいます。写真は、本年産の越冬長ネギの品質などを話す北見地区の川尻誠さん、川尻覚さん、竹中義一さんです（左から）。

### もくじ CONTENTS

特集① オホーツク地域挙げて 交渉参加に反対 TPP	4
○季節の薫り	2
○表紙紹介 「元気いっぱい！3兄弟」	2
○JAきたみらい ホットライン東西南北	6
○ほのぼの広場 ・きたみらいのホープさん ・マイティスト 「ピース作り」 ・思い出の写真 ・私のパートナー ・わが家のアイドル ・大きくなったら ・おらがまちのおしどり夫婦 ・ましがいさがし ・読者の声	10
○JAからのお知らせ	14
○おひさまサラダクッキング 「ビーフストロガノフ」 「ポトフ」	18

### 表紙紹介

## 元気いっぱい！3兄弟

春風が冷たい3月23日、秋場さん宅に着き玄関のドアを開けると、知寛くん、健徳くん、お母さんに抱っこされた和為くんが笑顔で迎えてくれました。男の子3兄弟だけあって、取材中のお茶の間は元気な声でいっぱい。お母さんの陽子さんは「家の中はいつもにぎやかです」と話し、おじいちゃん和弘さんは「孫が3人もいるからとても楽しく、老いる暇がありません」と話してくれました。

当日、知寛くんはちょうど保育園の終了式から帰ったところ。保育園ではお友達とブロックで遊ぶのが好きで、最近背の高いタワーを作るのに夢中です。わんぱくさかりの健徳くんは、缶箱いっぱい集めたキャラクターの人形がお気に入り。今月からお兄ちゃんとお母さんに通うのを楽しみにしています。そして、昨年7月には弟の和為くんが誕生。現在、体重も8<sup>キ</sup>となり、健康そのもので、2人のお兄ちゃんに囲まれながらすくすくと成長しています。

元気に遊ぶ3人の子供たちを見て、お父さんとお母さんは、「男の子らしく、たくましく育ててほしい」と笑顔で話してくれました。



【ご家族紹介】  
前列左から～おばあちゃんの房子さん(61)と知寛くん(4)、ひいおばあちゃんのツヤ子さん(84)、おじいちゃん和弘さん(61)と和為くん(8ヶ月)  
後列左から～お母さんの陽子さん(26)、お父さんの知徳さん(35)と健徳くん(2)  
秋場さんは、豆類、馬鈴薯、根菜類、小麦など約27<sup>種</sup>を作付けしています。

# TPP

## オホーツク地域挙げて 交渉参加に反対!

### オホーツク圏活性化期成会

オホーツク圏活性化期成会では、TPP交渉参加が近く表明されることを懸念し、JA・自治体・消費者団体などが集まり、「緊急集会」が開催されましたので、その内容を紹介します。

## 8団体が500人が参加



▲約500人が集まって開かれた緊急集会

2月に行われた日米首脳会議で、安倍晋三首相からTPPに「聖域なき関税撤廃ではないことが確認された」として、近く交渉参加を表明する意向を示したことを受け、オホーツク管内の市町村長、

市町村議会議長で構成するオホーツク圏活性化期成会は3月10日、網走市のエコーセンタールで「TPPから『地域』『経済』『生活』を守るオホーツク緊急集会」を行いました。当日は暴風雪の悪天候の中にもかかわらず、オホーツク農業協同組合長をはじめ、北見地区農民連盟、北見管内漁業協同組合長など、8団体の代表合わせて約500人が集まり、JAきたみらいからも役員とJA青年部役員合わせて31人が参加しました。



▲反対意思の「のぼり」がたくさん掲げられた会場  
▲情勢報告や参加反対の表明を聞く当JA役員のみなさん



▲激励挨拶を述べるオホーツク総合振興局の有利典局長

オホーツク総合振興局の有利典局長の激励挨拶に続き北海道農業協同組合中央会北見支所の山田秀人支所長が、現在のTPPをめぐる情勢を詳しく報告されました。

その中で、「既に合意されたルールについて、新たに参加する国が再協議できるかは不透明であり、各分野の影響額の再試算についても未だに公表されていない」と述べ、さらに「GDPレベルの試算では、アメリカと日本で約8割を占め、日本の主な輸先となり得るのはアメリカ市場となるが、TPPを通じ貿易赤字の是正や各分野での規制緩和・関税撤廃を求め、自国の輸出増大に繋がりたいとの思惑が明確ななか、日本

がTPPに参加したとしても、各国の格好の草刈り場となりかねない」など、さまざまな例をあげて交渉参加に対する反対の意思を示しました。

その後、オホーツク農協協同組合長の佐藤正昭会長（JAこしみず）や網走管内消費者協会連合会の本間公三会長から参加反対の立場から意見表明がなされ、地元選出の衆議院議員の武部新氏や北海道議会議員4名からも激励挨拶がありました。

最後に同期成会副会長の櫻田真人北見市長より「道民の合意がないまま、関税撤廃を原則とするTPPへの参加を決して行わないよう強く求める」との集会宣言を採択し閉会となりました。



▲情勢報告を述べる中央会北見支所の山田秀人支所長

緊急集会から5日後の3月15日、安部首相はTPP交渉の参加を表明。これに対してJAグループ北海道では、ただちに安倍総理に抗議声明を表明しました。

JA道中央会の飛田稔章会長は、「情報開示や国民議論も全く不十分ななか、性急にTPP交渉参加表明を行った事は、不安を抱く多くの国民の声を無視した暴挙であり断固抗議する。国益は守るといって聖域や国益の定義も全く曖昧なまま、いか

## 参加表明に抗議声明

にして国益を守ることができの理解できない」とし、「そもそも安倍首相は、聖域なき関税撤廃を前提にするTPP交渉参加には反対と公約に掲げて政権交代を果たしたはずであり、交渉参加を決めたことは選挙民への裏切り行為である。今後ともJAグループ北海道は各団体との連携を密にし政府に対して交渉脱退を求めていく」との声明の趣旨を伝えていきます。



▲拍手で集会宣言が採択、円写真は集会宣言を述べる櫻田真人北見市長

# 温泉の熱で イチゴ栽培

～6月下旬からの  
出荷を目指して～



▲土を盛り灌水の準備をする三野さん

農業生産法人の野村農事株のハウスでは、3月中旬から温泉熱を利用したイチゴの管理作業が行われています。栽培されているのは「すずあかね」という品種で、他の品種よりも深植えが必要のため、現在は土を盛り、灌水の準備を行っています。ハウス内には温泉が通っており、冬の間の温度管理に利用されています。

冬の間、主にハウス管理作業をしている野村農事株の三野就久さんは、「今後、農業情勢がわからない中でも、良いものを作って、地域農業の一端として貢献していきたい」と話してくれました。ここで栽培されるイチゴは6月下旬から出荷を予定。隣接の塩別つるる温泉などに届けられる予定です。

# 指先に集中し ぬいぐるみ作成

～支部研修に  
会員8名参加～



▲犬のぬいぐるみ作りに励む会員のみなさん

フレッシュミクス相内支部（森谷美生支部長）は3月18日、地区事務所支部研修会を行い、会員8人が参加し、「犬のぬいぐるみ作り」を体験しました。ぬいぐるみは、針、はさみ、手芸接着剤、チャコペン、ピンセットなど様々な道具を用い、手順のパンフレットを参照しながら進められました。針や糸を使う細かい作業となりましたが、会員たちは指先に神経を

集中させ、縫い目を合わせながら2～3時間程で可愛らしいぬいぐるみを作り上げていました。今回のぬいぐるみキットは難易度が高く、会員たちは作製に苦戦していましたが、完成後は互いにぬいぐるみを見せ合い、自分の作品に満足していました。研修会終了後には昼食をみんなで囲み、支部会が実施されました。

# 東 西 南 北

▼苗の生育状況を確認する中村さん



KAMITOKORO



# 促成栽培トマト ハウスに定植

～5月中旬の  
初出荷を目指して～

上常呂トマト生産部会の中村剛美部会長は、3月11日から12日の2日間、ハウスに促成栽培のトマト定植を行いました。定植されたトマトの苗は、1月22日に播種、2月下旬に1株ずつポットへ鉢上げし、約20cmまでに生育したものです。品種は「ハウス桃太郎」と「桃太郎はるか」が半分ずつ、ハウス4棟

に計4000本が定植されており、出荷開始は2ヶ月後の5月中旬を予定しています。中村さんは「第1果房のつぼみが小さく、寒さの影響で生育が遅れている。今後は温度管理に気をつけ、今年も美味しいトマトを作りたい」と意気込みを話してくれました。同地区のトマト作付けは約3430坪、98%の収穫を予定しています。

▼講師の説明に耳を傾ける組合員のみなさん



OKETO



# 制度を理解し 経営に役立てる

～共済制度勉強会に  
組合員37名が参加～

置戸町農民協議会（安西昇会長）は3月25日、家畜共済と畑作共済制度についての勉強会を開き、組合員37人が参加しました。この勉強会は、共済制度の仕組みの理解を深め、税申告に役立てるという目的から、盟友のみならず、青年部員にも参加を呼びかけて開くことになりました。講師にオホーツク農業共済組合の

増田家畜部長と笹倉家畜次長、中尾農産課長の3人を迎え、家畜共済と畑作共済への加入方式から支払いまでの流れや、掛金率や算定方法などについて分かり易く説明を受けました。当日は青年部員も多数参加していたので、今後の経営を担っていく上で、とても参考になる勉強会となりました。

# 手際よく 種芋の受渡し

## ～植付けに向けた 営農準備開始～



▲トラックに積まれる種芋を確認する生産者

端野町馬鈴薯振興会（島倉英一会長）と種子馬鈴薯生産組合（高橋博幸組合長）は3月26日より、端野地区の選果場施設で種芋の受け渡しを開始しました。  
当日は、早出し馬鈴薯の生産者へ種芋が引き渡され、倉庫にはネットに入れられた種芋のコンテナ約1200基が準備されており、手際よくリフトでトラックに積み込みながら、

規格と数量を確認、受け渡しを行っています。  
受け渡しは、4月10日頃まで続けられ、各農家に引き取られた種芋はハウスなどに運ばれ、芋切りや浴光催芽など、植付けに向けた本格的な作業が始まります。  
同地区における馬鈴薯の作付面積は、食用で450畝、加工用70畝、種子用100畝を予定しています。

# 楽しみながら 野菜作り

## ～かあさんの朝市会 苗作り始まる～



▲丹念に苗の間引きを行う松尾さん

北見市かあさんの朝市会の会員、松尾春子さん（昭和）のビニールハウスでは、今年度の朝市への出荷に向けて野菜苗作りが始まっています。ハウス内にはトマト、キュウリ、ナス、キャベツ、ハクサイなどさまざまな野菜の苗がきれいに並べられ、管理作業が行われていました。  
苗は3月上旬に播種され、4月中旬には露地に定植する予定ですが、

松尾さんは「今年は雪解けが遅いため、定植時期も大幅に遅れそうです」と心配そうに話し、また「今年も楽しみながら野菜を作り、朝市に来てくれる方へ、新鮮でおいしい野菜を届けたい」と話してくれました。  
今年度のかあさんの朝市会は、例年通り、センター事務所横の吹き抜け倉庫で、5月末から10月上旬までの毎週日曜日に開催される予定です。

# 東 西 南 北

▼散布機に乗って融雪材を散布する生産者



# 地域一丸で 収量増大を

## ～春の適期作業に向け 融雪材散布作業始まる～

留辺蘂地区の瑞穂融雪組合では3月5日より、融雪材の散布作業が始まりました。  
この作業は、融雪の遅い同地区で、収量向上や各作物の早期播種を行う上で、欠かすことのできない作業の一つとなっています。  
同組合は散布機3台を所有し、日に20〜30畝の散布を行っています。昨年秋の長雨の影響で地面がぬかる

んでいることや、作業期間中の降雪の影響で例年より遅れましたが、委託された約230畝の畑の散布を3月中旬に終了しました。  
同組合の村上孝幸組合長は、「春小麦の作付けも増えており、早めの播種作業が収量増大に大きく影響する。融雪材を2回撒くなど地域一丸となって努力していきたい」と意気込みを語ってくれました。

▼事業の説明に耳を傾ける組合員のみなさん



# 事業へ期待し 多くの質疑

## ～畜産関係補正予算 説明会を開催～

J Aきたみらいでは酪農家を対象に3月18日、訓子府地区事務所平成24年度補正予算の説明会を開き、約40人が参加しました。  
説明会では「畜産経営力向上緊急支援リース事業」と「飼料自給力強化支援事業」の2つについて詳細を説明、前者はリースでの機械導入に対して3分の1を補助。後者はコントラクタ等の受託作業を行う協業法

人を対象として施設改修などの経費の2分の1を補助する事業となっています。  
取り決めや進め方を示した要綱・要領では、不明確な部分があるものの、事業の大枠が定められたことから、説明会を実施しました。  
参加者からは多くの質疑が寄せられ、事業への期待がうかがえました。

# 私のパートナー



今月号の「私のパートナー」は、第一子の誕生を心待ちにしている、笑顔がすてきな荻谷亮祐さん、鮎美さん夫妻を紹介します。

## 笑顔で楽しい家庭を

北見地区・上仁頃  
荻谷 亮祐さん(25歳)  
鮎美さん(25歳)

- Q ご結婚されたのはいつですか？  
平成25年の2月です。
- Q 知り合ったキッカケは？  
共通の友人を通じて知り合いました。
- Q 鮎美さんの出身地は？  
佐呂間町の出身です。
- Q 休日の過ごし方は？  
休みの日は二人でドライブや買い物に出かけます。
- Q 互いに感謝しているところは？  
亮祐さん…「家事を頑張ってやってくれるところ」  
鮎美さん…「毎日仕事を頑張ってくれるところ」
- Q 一週間自由な時間があったら何をしたいですか？  
ハワイなど、いろんな場所に旅行へ行きたいです。
- Q これからどんな家庭を築きたいですか？  
みんなが笑顔で過ごせる、明るく楽しい家庭にしたいです。



# 思い出の写真

## 丸森町と「山伏神楽」

この写真は、今から22年前の平成3年2月に宮城県丸森町から山伏（やまぶし）神楽保存会16名が旧端野町へ来町。その時に来町を記念して端野町公民館前で、町の芸能祭で山伏神楽の「三剣（さんけん）の舞」を披露した時に撮った写真です。

端野町豊実地区では、昭和5年に宮城県丸森町大内地区より入植した方たちが、農閑期の娯楽として丸森町の「山伏神楽」を紹介したのが始まり。昭和47年に「豊実神楽保存会」を結成し、平成17年まで毎年互いの町を訪問し山伏神楽の伝承交流を行っていました。現在も行われている子ども交流も、山伏神楽がきっかけで、平成4年から丸森町への訪問が始まり、平成8年には姉妹都市提携も結ばれました。

現在も地域の敬老会や交通安全祈願祭等で豊実神楽を披露しているとのことで、今年より会長を引き継いでいる高橋さんは、「丸森町の神楽保存会から技術指導を受けながら交流したことが一番の思い出、これからも活動を続けていきたい」と話してくれました。

【写真説明】  
丸森町の山伏神楽保存会のみなさんと、端野地区の組合員・町職員の集合写真、円写真は端野町公民館で披露された「三剣の舞」（高橋さんは前2列の右4人目）

端野地区・豊実  
高橋 勇男さん(75歳)



# マイテイスト

## ビーズ作り

星加さんの趣味は5年ほど前から始めたビーズ作りです。友人が楽しそうに作っているのを見て、自分でもやってみたいと思ったのがきっかけです。

好きな色やデザインのビーズ・レシピを少しずつ集め、農作業の合間をぬいながら作り始めました。「最初の頃はテグスがビーズに入らず苦労しました」と笑いながら話してくれた星加さん。以前はAコープの前で野菜と一緒に手作りビーズも販売していました。今は目がしょぼしょぼして以前より作る頻度は減ってしまいましたが、研究を怠っていたわけではありません。意欲的にビーズの知識とテクニックを学び、頭の中は新作のアイデアでいっぱい。「暇を見つけて再びビーズ作りにトライし、グレードアップした新作を披露したい」と笑顔で話してくれました。



相内地区・豊田  
星加 智子さん(48歳)



▲手作りビーズの品々

# ほのぼのの広場



きたみらいの  
ホープさん

## 安全・安心な作物を

訓子府地区・日出  
宮本 卓也さん(29歳)

卓也さんは宮本憲司さん・久美子さんの長男。約15haの農地にもち米、小麦、甜菜、馬鈴薯を作付けています。2007年4月に就農し、今月で7年目を迎えました。

- 趣味は？  
バイクです。自分で整備してツーリングに出かけます。風と一体化した時、日頃のストレスも吹っ飛びます。あと、趣味ってわけではないですけど、スプレー缶ホイップクリームを人の口に突っ込んでアワフアワ言わすことが好きです。
  - 理想の女性？  
明るくてノリの合う人が良いです。森三中でいうと？……ノーコメントです。
  - 結婚はいつ頃までに？  
機会があれば……。今のところないですけど。
  - 休日はどんな事をしている？  
バイク仲間の皆さんとツーリングに行きます。
  - 好きな食べ物と嫌いな食べ物？  
チョコミントアイスが好きです。苦手なものはパセリです。
  - 今後の抱負は？  
まずは健康第一。そして安全・安心な農作物を提供できるように頑張っていきたいです。
- 5月号の「ホープさん」は、JAきたみらい青年部？支部の？さんを予定しています。広報編集委員が、突然、取材にお伺いすると思いますが、何卒、ご協力願います。

# まちがいさがし

Bのイラストには、Aのイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を右下のイラストの中の数字でお答え下さい。

A



B



## 3月号クイズの当選者

3月号のまちがいさがしの答えは「3. 6. 8. 9. 11」でした。正解者53名の中から抽選の結果、当選者は次の方々です。尚、抽選はJAきたみらいの大坪常務にお願いしました。

( )内は地区名

- 岡本さゆり (温根湯)
- 小野寺博志 (温根湯)
- 片桐 睦夫 (置戸)
- 浅川 愛菜 (訓子府)
- 齋藤 晴美 (訓子府)
- 渡辺 美咲 (相内)
- 森谷 蓮華 (相内)
- 山本 麻唯 (上常呂)
- 中嶋ゆり子 (北見)
- 栗田 春光 (端野)

以上の方々には、グリーンズ北見の「白花豆・帆立のポタージュ」をプレゼントします。



## 応募方法

答えが解った人は、別紙の応募用紙に答え(番号)と広報誌へのご意見・ご感想を記入してFAXでご応募下さい。抽選で10名の方に、相内の菓子店「圓泉堂」の“熊のまくら”をプレゼントします。

# 大きくなったら



庄司 和希くん (8歳) 光希ちゃん (10歳)

留辺蘂地区・大富

## 「匠」になりたい

和希 (かずき) くん (左) 10歳  
大きくなったら、テレビで見た劇的ビフォーアフターの「匠」みたいな、いろんなものを組み立てる大工さんになりたいです。大工さんになったら、一番最初に大きな倉庫を組み立てたいです。

## お花屋さんになりたい

光希 (みつぎ) ちゃん (右) 8歳  
私は、お花を育てるお花屋さんになりたいです。おばあちゃんが庭にお花をいっぱい育てているのを見て、私もきれいな花を育ててみたいと思ったからです。

庄司正行さん、明美さん夫婦のお子さんです。未来の匠、和希くんは自由研究で自分の背と同じくらい高い棚を作り、その片鱗をうかがわせます。光希ちゃんが一番好きなお花はチューリップ。春になったらおばあちゃんと一緒に庭にお花を植えるそうです。

# ほのぼのの広場



上常呂地区・広郷  
山本 向日葵(ひまり)ちゃん(3歳9ヶ月)  
龍臥(りゅうが)くん(5ヶ月)

## わが家のアイドル

## スーパーマリオ大好き

チョット照れ屋の向日葵ちゃん。お父さんの足に隠れて、照れながらあいさつしてくれました。昨年10月に弟の龍臥くんが生まれ、お母さんが忙しいときは面倒見の良いお姉さんぶりを発揮してくれます。

今は上常呂保育所に通い、たくさんのお友達と一緒にする積み木遊びと、ゲームのスーパーマリオにはまっています。最近では一人でトイレに行けるようになり、お母さんは日に日に成長していることを実感しているそうです。

そんな向日葵ちゃんにご両親は、「“ひまわり”のようにまっすぐ素直に、明るく元気に育って欲しい」と話してくれました。

向日葵ちゃんと龍臥くんは、山本晃久さん・麻唯さん夫妻のお子さん達です。

## おらがまちの



## おしどり夫婦 いっしょに旅行へ



温根湯地区・花丘  
菅原 良夫さん(81歳)  
ツル子さん(75歳)

良夫さんは昭和21年に学校を卒業し、15歳で就農。当時は3畝程の畑作業の他に冬は山仕事と、1年中働き通してました。  
ツル子さんと結婚した2年後、昭和35年に分家し、鶏・羊・豚・和牛などを飼育していましたが、その後機械化に伴い畑作専業へ転換し、現在に至ります。  
経営移譲後は、ツル子さんと一緒に趣味のカメラを手に、旅行へ出かけています。したが、最近ではなかなか機会にも恵まれず残念とのこと。  
今も現役で農作業に励む良夫さんは、「体を動かしながら、元気でいたいね」と話してくれました。

ツル子さんは留辺蘂町の川北で生まれ、実家で農業の手伝いをしていました。お見合いで出会った良夫さんと昭和33年に結婚し今年で55年目。良夫さんが冬の間山仕事に出掛けている間は牛の世話を任せられ、大変な苦勞もあつたと笑顔で話してくれました。  
ツル子さんの趣味は、布片を縫い合わせる手芸の「パッチワーク」。熟練の技でバックやポーチなどを仕上げます。  
今後の目標は、「これから健康に気をつけて、趣味を続けていきたい。また二人で旅行にも行きたいです」と話してくれました。

☺ 数日の暖かさで、一気に融雪が進んだ気がします。今年は「干ばつて風が強い」との予報ですが、秋にはニコツとしたいですね。

(留辺蘂地区・坂下 恵子さん)

冬の寒さも少なくなり、春の暖かさがうれしい時期となってきました。すでに今年の作業がスタートしている皆さんは作柄が気になっていることと思います、「ニコツ×2」って感じになるといいですね。

☺ うすく春ですね。農作業も始まります。農業者のみなさん怪我をしないよう頑張りましょう。

(置戸地区・石村 直美さん)

まもなく畑の雪化粧も無くなり、いよいよ畑が顔を出してくる頃です。久しぶりに体を動かす方は、体の慣らし運転を十分に注意して、無理せず頑張ってください。

☺ よこい早く来い。ハウスに少し播いた野菜も芽が出てきて、玉葱も順調に生育しています。毎日楽しく子守りしている所です……。

(北見地区・杉山 さち子さん)

ハウスの中ではすでに春真っ盛りといった感じでしょうか。ハウスの管理は気の抜けない作業ですが、あと1月ほどで定植となりますので、健康な強い苗を育てるため頑張ってください。

☺ 真が多く、見ていて楽しめました。次号が待ち遠しいです。頑張ってください。

(北見地区・遠藤 幸恵さん)

ありがとうございます。今後も見て楽しめるような誌面作りを心掛けていきたいと思ひます。他にも気づいたことがありましたら、気軽にご意見をお寄せ下さい。

# INFORMATION

## 楽しく学んだ 3年間の講習を修了

### 畑楽クラブ第1期生閉講式

若い女性農業者を対象とした勉強グループ「畑楽クラブ」は3月8日、JAきたみらいセンター事務所、カリキュラム最後の実習と、3年間行われてきた農業基礎の勉強会を締めくくる、閉講式が行われ12人が参加しました。

同クラブは「農業を基礎から勉強したい」と若い女性農業者の声を受け、JAは網走農業改良普及センターの協力を得て平成22年に開講。農業歴ゼロから10年程度の女性26人



▲最後の講習の「うどん作り」に取り組む受講者の皆さん  
◀完成した「かき揚げうどん」

が1期生として受講し、主要作物の生育過程や病害虫、雑草の種類や生育調査など3年間で13回の講義が実施されました。

最終の講義は加工実習として「かき揚げうどん」を作製、講師に網走改良普及センターの綾部専門普及員と木村主査を迎え、小麦粉を練るところから開始。1人ひとりが小麦に塩水を混ぜ、ある程度纏まってきたらピール袋に入れ、足で踏みながら平らにし、折り返してはまた踏む作業

を3回程繰り返し、参加者のみなさんは汗をかきながらうどんを捏ねていました。その後、手分けしながら野菜のかき揚げと、麺を切って茹で「かき揚げうどん」が完成。参加者全員で昼食として美味しくいただきました（コシの強いつるつるの美味しいうどんでした）。

実習終了後、3年間のカリキュラム終了に伴う閉講式が行われ、JAきたみらいの坂下専務より1人ひとりに修了証書が手渡されました。

1期生から寄せられた感想からは、「家では聞きづらく、わからないと言えない、そんなことを広く詳しく学べることができた」「家では作業の意味もわからず言われたことをしてつまらないと思っていました。た作業が、全ての作業には意味があることを知ることができた」と3年間の講義の成果について記され、また「とても良い友人関係が築け、楽しく学ぶことができました」と同会の魅力を発見することができたようです。

今後、JAきたみらいでは7月より開始する、同クラブの2期生を募集する予定となっています。



▲坂下専務から手渡される修了証を受取る下田裕美子さん(右)



▲笑顔で卒業した「畑楽クラブ1期生」のみなさん

## JA高知市と協力体制を構築

### 萬歳会長が立ち合いのもと 姉妹農協として調印

JA高知市とJAきたみらいは3月8日、東京都千代田区丸の内東京会館で姉妹農協の調印式を行いました。

調印式には立会人として同席したJA全国中央会の萬歳会長、JA北海道中央会の飛田稔章会長、JA高知中央会の山崎實樹助会長と久岡隆副会長が見守るなか、JA高知市の垣内組合長と当JAの西川組合長が調印書に署名、握手しました。平成14年2月25日に旧JA北見市がJA高知市と締結した姉妹農協の

趣旨を、合併したJAきたみらいが継承。更なる交流の促進と地域及び農業の発展を目的に交流事業を行うこととし、今後、役員・青年部・女性部等の交流や、物産展への協力支援などが行われる予定です。

姉妹農協調印に当たり、当JAの西川組合長は「高知と北見は行政・商工会議所が姉妹関係を結び、今年1月には両市により『災害時相互応援協定』が締結され、JA間でも姉妹関係を継続・維持し、絆を強固なものにしたい」と述べ、これに対し

て垣内組合長からは「より強く、より深いJA間交流を行い、組合員の経営発展につなげていきたい」と期待を寄せていました。

#### JA高知市概要

(平成24年3月末時点)

正組合員	6千603名
正組合員戸数	4千047戸
准組合員	13千599名
販売取扱高	41億5千万円
購買品供給高	30億5千万円
貯金残高	1365億6千万円
長期共済保有高	6013億3千万円

◆主要な販売品目  
(取扱高の上位より)  
しょうが・グロリオサ(ユリ科の花)・米穀・ゆり・ゆず

## 食農教材を 1市2町の小学校へ 25校に1370冊を贈呈

JAきたみらいは3月12日、北見市・訓子府町・置戸町の小学校25校に食農教育用の教材本1370冊を贈りました。

この事業は、農林中央金庫の資金で創設された社団法人「JAバンクアグリ・エコサポート基金」が平成20年から食農教育を応援する社会貢献事業の一環で行われており、次世

代を担う子供への食農教育・環境教育・金融経済教育の活動を通じて、農業への理解を深めてもらうことを目的に、小学生向けの補助教材を作成し、全国の小学校に贈呈されているもので、今年で6回目となります。

教材本は小学5年生を中心とした授業で活用されることを目的に作製されており「農業とわたしたちのく

力になると思います」と活用効果に期待を寄せていました。



▲調印後堅く握手を交わすJA高知の垣内組合長(右)とJA全国中央会の萬歳会長(中)、当JAの西川組合長(左)



▲北見市の佐藤教育長に教材本を渡す鹿野内部長(右)

# INFORMATION

## 第2回 理事会報告

3月22日、午前9時30分より第2回定例理事会が開催され、報告事項12件、議決事項11件が協議され、原案通り承認されました。

### 【報告事項】

- ①平成24年度独立監査法人の監査報告について
- ②平成24年度期末定期監査報告について
- ③組合員状況報告について
- ④財務状況報告について
- ⑤人事の発令について
- ⑥平成24年度キャッシュフロー計算書について
- ⑦JAバンク基本方針に基づく「体制整備モニタリング報告」について
- ⑧3月2日～3日の暴風雪による被害状況について
- ⑨平成24年度産共計玉ねぎ・馬鈴しょの選果販売状況について
- ⑩網走小麦船積センターの建設について
- ⑪生乳生産状況及び個体取引価格について
- ⑫役員選任に係る地区推薦委員の変更について

### 【議決事項】

- ①出資増減口及び持分譲渡について
- ②固定資産の取得について
- ③諸規程の改正について
- ④北海道常例検査指摘事項に係る改善状況報告について
- ⑤退任役員に係る役員退職慰労金の支給について
- ⑥外部出資の増口について
- ⑦平成25年度役員報酬における理事・監事報酬総額の配分について
- ⑧平成25年度給与の改定について
- ⑨農業体質強化基盤整備促進事業に係る委託業者の選定について
- ⑩冬期地区別懇談会Q & Aについて
- ⑪第10回通常総代会提出議案について



**総務企画部付 丸山 恵理**

- ①平成2年4月15日
- ②帯広畜産大学
- ③テニス、ドライブ、カフェめぐり

④私は明るくポジティブをモットーに、たくさんの方の事を吸収していきたいと思っています。まだ分からないことばかりですが、何事にも積極的に取り組み、農業・地域の発展に貢献していきたいです。組合員の皆様のお役に立てるよう、日々精進していきますので、ご指導のほどよろしくお願い致します。



**総務企画部付 黒田 佳子**

- ①平成元年5月29日
- ②帯広畜産大学
- ③ドライブ、乗馬

④私は組合員の皆様と消費者をつなぐ架け橋になりたいと考えております。大学で学んできたことを生かしつつ、様々なことに挑戦し、農業発展に貢献したいと思っています。組合員の皆様に信頼され、頼られる農協職員になれるように頑張りますので、ご指導のほどよろしくお願い致します。

## 平成25年度 新規採用職員 の紹介

本年度新規採用された5名の職員を紹介します。総務企画部付4名の配属先については1ヶ月間の研修終了後正式に決定されますが、組合員の皆さんよろしくお願致します。

- ①生年月日 ②出身校
- ③趣味・特技 ④抱負



**購買部資材東エリア 佐藤 一馬**

- ①平成5年5月2日
- ②JAカレッジ
- ③ドライブ、カラオケ

④私はJAカレッジの1年間で3つのことを中心に頑張ろうと決意をしました。1つ目は“コミュニケーション”、2つ目は“人間関係”で、組合員・職員・地域の人々と交流を深めていきたいです。3つ目は“挑戦”で、若いうちの苦労は買ってでも行い、立派な職員になれるよう努力致します。皆様ご指導のほどよろしくお願い致します。



**総務企画部付 西村 巧慎**

- ①平成2年10月23日
- ②北海学園大学
- ③音楽ライブ、ビールを飲むこと

④農業のことはまだまだ勉強不足ですが、業務の中で多くの知識を身につけ、地域発展のお手伝いができればと考えています。厳しい農業環境や課題も多い時期ですが、こんな時代だからこそ、協同組合の理念に則り「相互扶助」を実践していくべきだと思います。至らない所も多々ありますが、精一杯頑張ります、ご指導のほどよろしくお願い致します。



**総務企画部付 河田 拓也**

- ①平成2年10月6日
- ②北見工業大学
- ③サッカー観戦、パドミントン

④出身が訓子府町、高校・大学までずっと北見で生活していますが、農業とのつながりがほとんど無かったため、知らないことが多いと思います。これからは、向上心を持ち、積極的に学び、組合員の皆様に頼っていただける職員になりたいです。また、多少の土地勘も活かしたなかで地域農業に貢献できるよう頑張ります、よろしくお願い致します。

## 北海道産業貢献賞〈農業指導功労者〉 “受賞”おめでとうございます!

北海道では、多年にわたり本道の産業発展に貢献され、その功績が顕著な方を産業部門別に表彰しています。平成24年度の北海道産業貢献賞（農業指導功労者）において、JAきたみらい管内より2名の方が、長年の功績を認められ受賞されましたので、ご紹介致します。



**置戸町 安住 北海道指導農業者 安達 峯雄氏 (66歳)**

安達さんは、平成9年に北海道指導農業者として認定されて以降、甜菜の栽培技術普及指導のため、置戸町、訓子府町における甜菜の生産振興に貢献。昭和55年から平成初期にかけて苗立枯病による生産性が低下した際、低温育苗の必要性に着目、地域の甜菜育苗技術の改善と普及指導に努力されました。また、地域づくりに対する活動として「愛タウンふるさとづくり協議会」の会長として平成9年から23年までの13年間、農村における農業体験の研修生を受け入れる中心となり、会長在任中には70名の研修生を受け入れ、そのうち3分の1の研修生が現在でも同町に定住し、農業の担い手や農業関係の仕事に就職、地域の担い手の確保に大きな功績を挙げています。さらに昭和56年から平成14年までの23年間、置戸町農民連盟の副委員長・書記長を務め、経営記帳の普及指導を行い、クミカンデータとパソコンを利用した記帳の普及指導と経営改善の定着化に貢献されました。平成11年からは2期8年間、置戸町町議会議員も務め産業建設常任委員として、農業振興と施策の推進に功績をあげられています。安達さんは「受賞は地域・関係者皆様のご理解とご協力のおかげと感謝しています、今後も地域農業のために貢献できるよう頑張ります」と受賞の喜びを話してくれました。



**北見市広郷 北海道指導農業者 角田 誠二氏 (67歳)**

角田さんは、平成4年に北海道指導農業者に認定されて以降、地域農業発展のため、積極的に担い手の育成に取り組み、平成11年から16年に北見地区指導農業者・農業士会会長を務め、17年から20年においては、オホーツク管内指導農業者・農業指導士会会長を務め、管内の指導農業者の中心的役割を果たしてきました。また、将来の農業の担い手の人材育成に対する熱意は非常に高く、北海道指導農業者となる以前の昭和50年以降から現在に至るまで、JA職員・大学生・高校生・農林水産省職員・普及指導員、延べ50人を越える研修生の受け入れを行っており、地域の枠に留まらず北海道農業全体の担い手育成に大いに貢献されました。旧上常呂農業協同組合においては、昭和53年から平成13年の24年間に渡り、理事として地域農業の振興に寄与され、調停委員としても、昭和62年から平成22年の長きにわたり、民事・家事の紛争の調停役として社会貢献に尽力、平成20年から22年には北見調停協会会長も務めており、その功績により平成22年11月に藍綬褒章を受章されています。角田さんは「受賞は地域の皆さんや関係者の協力の賜物です。これからも地域農業振興のために、信念を持って力を注いでいきたい」と受賞の喜びと、今後に向けた意気込みを話してくれました。

## 退職のお知らせ

平成25年4月1日付で職員の退職がありましたのでお知らせします。各職員とも在職中は、組合員皆様を始め、地域皆さまの御厚情をいただき誠にありがとうございました。なお、退職にあたり旧JA入職年度と合併後の職歴、正職員としての在籍期間(旧JA含む)を簡単にご紹介します。



**岩崎 健朗 (金融共済部貯金課)**

- ・S48.4 端野町農協入職
- ・H15.2 端野支所金融共済課長
- ・H19.6 北見支所金融共済課長
- ・H21.6 金融共済部北見支店考査役
- ・H23.5 金融共済部貯金課考査役

■在職期間 40年



**坂野 秀俊 (組合員ふれあい室ふれあい相談8G兼7G)**

- ・S47.4 端野町農協入職
- ・H15.2 内部監査室長
- ・H20.5 監査室長
- ・H21.6 組合員ふれあい室ふれあい相談8兼7グループマネージャー

■在職期間 41年



**田中 修吾 (監査室)**

- ・S54.4 北見市農協入職
- ・H15.2 総務部長
- ・H16.2 金融共済部長
- ・H21.2 監査室長

■在職期間 34年



## ビーフストロガノフ

【エネルギー953kcal(1人分)】

### 【作り方】

- ①肉は4～5cm長さに切り、分量の塩とこしょう少々を振る。
- ②タマネギは半分に切ってから5mmの薄切りにする。
- ③鍋にバター大さじ1を熱しタマネギをしんなりするまで炒め、油をだして、①の肉を炒めて、焼き色を付ける。マッシュルームとワインを加えて少し煮る。
- ④バターと小麦粉を器に入れ、粉っ気がなくなるまで混ぜる。
- ⑤③に生クリームを加え④を入れてとろみをつける。
- ⑥最後に、レモン汁と塩・こしょうで味を調える。
- ⑦温かいご飯にバター大さじ2とパセリを混ぜてバターライスを作り、⑥と盛り合わせる。ヨーグルトを掛ける。

### 【材料：4人前】

- 温かいご飯.....800g
- バター.....大さじ2
- パセリのみじん切り.....大さじ1
- 牛肉(薄切り).....大さじ1
- 塩.....300g
- こしょう.....小さじ1/2
- タマネギ.....中1個(200g)
- バター・サラダ油.....各大さじ1
- マッシュルーム缶詰(スライス).....中1缶(75g)
- ワイン.....大さじ2
- 小麦粉・バター.....各大さじ1
- 生クリーム.....150ml
- レモン汁.....少々
- 塩・こしょう.....各少々
- ヨーグルト(お好みで).....100ml

### メモ

手間がかかるロシア料理のビーフストロガノフをおいしくスピーディーに作ります。とろみのルーもバターと小麦粉をよく混ぜて入れるだけ。生クリームとレモン汁が隠し味です。



## ポトフ

【エネルギー317kcal(1人分)】

### 【作り方】

- ①キャベツ、ニンジン、セロリ(筋を取る)は4等分に切る。ジャガイモは皮をむく。ブロッコリーは小房に分ける。ソーセージは斜めに5～6本の切り目を入れる。
- ②鍋にブロッコリー以外の野菜とソーセージ、Aを入れて火にかける。沸騰したら中火で約15分煮る。ブロッコリーを加え、さらに2～3分煮る。塩、こしょうで味を調える。器に盛り、粒マスタードを付けていただく。

### 【材料：4人前】

- キャベツ.....1/2個(50g)
- ニンジン.....1本(200g)
- セロリ.....1本(100g)
- ジャガイモ.....小4個(600g)
- ブロッコリー.....1/2(100g)
- フランクフルトソーセージ.....4本(200g)
- 水.....7カップ
- A スープのもと.....小さじ2
- ローリエ.....1枚
- 塩・こしょう.....各少々
- 粒マスタード(お好みで).....少々

### メモ

洋風のおでんです。材料を大きめに切ってスープで煮込みます。箸で崩しながらいただき、野菜本来のおいしい味を味わいます。野菜は他にカブ、カリフラワー、タマネギなど。ソーセージはベーコンに替えてもOKです。

### 編集後記

- ・3月の平均気温は、全国の観測地点154カ所のおよそ4分の1で過去最高を記録したそうですが、北海道は寒気の影響を受けたこともあり、平年並みか低めとのことでした。
- ・平年より7～10日程早く北上している桜の開花前線も、北海道では平年並みとの予想で、花見酒はまだ1月ほど先になるようです。
- ・日中の気温も10度前後まであがり、畑の融雪も進んでいます。もうしばらくすると、植え付け時期となりますが、徐々に体を慣らし、体調には充分注意され、農作業事故がないよう気を付けて下さい (扇谷 光輔)

### JAきたみらい概要

(平成25年3月18日現在)

- ・組合員数(正) 1,791人
- ・組合員数(准) 5,639人
- ・組合員戸数(正) 1,189戸
- ・貯金 100,885百万円
- ・貸出金 18,111百万円
- ・出資金 5,041百万円